

不完全であること

使用者委員 米盛庄一郎

最近の頭の良いチンパンジーは道具を使い、簡単な計算もできるのに驚きます。また、イルカは高度なショーを演じて観客を楽しませてくれます。また、人間も練習や訓練を通じて高度な技術や技量を取得することができます。しかしながら人と動物の大きな違いは何でしょうか。現在、全世界中においてコロナ感染で多くの命が奪われ、多くの罹患者であふれています。今回のコロナは人間だけでなく、動物にも感染するようです。また、日本各地で鳥インフルエンザが猛威を振るっており、多くの養鶏関係者が感染拡大防止に努めています。

人間は動物と違い、不完全であることを気付いており、その不完全さを補完するためにルールや規則を作って、社会の健全なる発展を目指してきました。コロナなど感染拡大防止には医療技術が必要ですが、その医療技術を確実に発揮できるように規則やルールが作られています。しかしながら、時代の要求がどんどん変化してきており、スピードが求められています。この不完全なることや少しでもその不完全さを補完するための対応を確実に行わなければ、社会に不安や不満が蔓延します。

令和に入り高齢化が進み人口が減少する中、日本では「働き方改革」により労働環境の見直しが増えてきています。IT技術の発展により従来からの慣例が通用しないこともあります。しかし、いくらルールや制度を見直しても完全なるものはできません。なぜなら、人間は不完全であるからですし、それを認識しているからです。動物と違い人間社会では報告・連絡・相談の対応が可能です。今後ともその能力を使って労働者と使用者のトラブルを少しでも解決していければと願うものです。